

# 議会だより

行政報告・補正予算	
意見書	2～4
町政のそこが聞きたい	5
一般質問	6～8
委員会などの動き	9～11



～東京体育館（東京都渋谷区）前にて～

## 川北バレーボール少年団 —川北スマイル—

育成会々長 長谷川 眞 団員数 23名  
キャプテン 葦澤 麻央

- ファミリーマートカップ第37回全日本バレーボール小学生大会 北北海道大会に優勝し、全国大会に出場。昨年度に続き2年連続の快挙

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

# 秋サケ漁の今後に期待を!

## 金澤瑛町長の行政報告

### 酪農業

今年度は平年に比べ4月から5月に入り気温が高かったことに加え、降水量も平年並みで日照時間も比較的多かったことから、牧草は順調な生育となった。その収穫については、6月下旬から7月中旬に入り好天が続く収穫適期に作業が行われたため品質の高い自給粗飼料が確保された。

2番草については7月下旬からの天候不順により、その生育及び収穫作業に若干の遅れが生じていたが、その後の天候回復により8月下旬から収穫作業が本格化した。生乳生産については、4月から8月末現在で対前年比102.3%、累計で44,218トン（前年比較+1,000トン）となっている。今後、平成29年産自

### 漁業

給粗飼料の給餌が本格的に開始されるが、品質の高い飼料収穫が行われたため、今後の生乳生産については今以上の伸びに期待がもてる状況にあると考えている。

9月1日から秋サケ定置網漁が解禁となったが、網入れについては河川への親魚の遡上を優先させる考えから遅らせて9月5日からとなり、さらに3日間の網入れ期間は水揚げをせず、9月8日からとなった。

標津漁協における9月12日までの水揚げ量は、対前年比で47%減の115トン（H28 219トン）となっており、大変厳しい状況にあると認識をしている。なお、9月1日の標津沖の表面水温は、17度となっており、昨

年の水温とほぼ同じ状況にある。いずれにしても、水揚量はかつての漁獲水準にはほど遠く漁業生産者をはじめ、水産加工業界への影響とも相まって、危機感をもって状況を注視して参りたい。

ホタテ漁については、8月24日に夏の操業を終えているが、漁獲量は2,388トン（H28 3,540トン）となり、対前年比で32%減となっている。秋操業は11月より開始されるが、計画と同程度の1,128トンの漁獲予想となっている。水揚額については、平均価格が285円（H28 289円）と依然として高騰しているが、漁獲量の減が響き、6億8千万円（H28 10億2千6百万円）と対前年比で34%減となっている。

### 久留米大学 理事長来町

標津病院は、久留米大学医学部・内科学講座及び外科学講座から教育関連診療科として認定をいただいているが、8月25日、久留米大学の母体となる学校法人久留米大学のトップである、永田見生理事長兼学長が初めて本町を訪れ、教育関連診療科としての標津病院の現状を視察された。私と田中議長、小川副議長との懇談の場を設けたが、永田理事長には標津病院への取り組みを高く評価していただきとともに、医師の派遣についても特設のご理解をいただいたところである。

久留米大学医学部からの医師派遣については、外科学講座が平成元年11月から、内科学講座は平成6年7月か



永田理事長夫妻に挨拶する田中議長と小川副議長

ら派遣をいただいているが、外科学講座の赤木由人主任教授が、9月24日に、又、内科学講座の星野友昭主任教授が、9月28日に来町され、標津病院の現状視察をされる予定である。

久留米大学の手厚いご配慮によって、安定した医療体制を確保できることは、標津病院にとって大変光栄なことであり、深く感謝を申し上げます。

**北朝鮮  
弾道ミサイル発射！  
※Jアラート発動！**

8月29日、午前5時58分に北朝鮮西岸のソナン付近（ピョンヤン国際空港内）から発射された弾道ミサイルに対して、消防庁は全国瞬時警報システム（通称・Jアラート）により、6時2分に発射に関する信号と6時14分に上空を通過する信号を発出した。

全国の自治体の一部では、受信障害が起これり受信できなかった市町村もあったと報告されているが、当町ではこの信号を正常に受信し、防災行政無線により戸別及び屋外受信機から放送が正常に流れるとともに、Jアラートの発信に伴い、緊急速報メール（通称・エリアメール）が自動的に送信された。

**※Jアラート**

大災害や武力攻撃などの危険情報を国民へ短時間で伝える警報システム。ジャパン【Japan】の頭文字Jと英語で警報を意味するアラート【alert】を結び付けた造語で、正式名称は全国瞬時警報システムである。

**発動された時にとる行動**

- 地下へ逃げる
- 頑丈な建物の中に逃げる
- 屋内であれば、窓のない部屋へ逃げる

**条例改正他**

「標津町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正」や「北海道町村議会議員公務災害補償

等組合規約の変更」等の4件を原案どおりに可決しました。

**閉会中の  
継続調査**

- 3委員会から申し出があり承認しました
- 《議会運営委員会》
- ① 本会議の会期日程等会議の運営に関して
  - ② 議会活性化対策に関して

**意見書**

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
提出者 **大垣 勇** 議員
- 教職員の長時間労働是正を求める意見書  
提出者 **大垣 勇** 議員

**人事異動**

8月1日付の人事異動により、議会事務局員が水口係長に変わりました。



水口係長

- 《総務経済常任委員会》
- ① 農林水産行政に関して
  - ② 商工観光行政に関して
  - ③ 地域振興に関して
  - ④ 行政組織の活性化に関して
- 《文教福祉建設常任委員会》
- ① 福祉行政の施策に関して
  - ② 教育行政の施策に関して
  - ③ 建設行政の施策に関して
- 期限はそれぞれ次期定例会まで

## 同意案件

### 監査委員

**西田 正夫氏**

標津町字川北166番地6

〈任期〉

平成29年9月26日～33年9月25日

### 教育委員会委員

**高山 賢潤氏**

標津町南4条西1丁目1番12

〈任期〉

平成29年10月11日～33年10月10日

### 固定資産評価審査 委員会委員

**大石 正則氏**

標津町字茶志骨123番地3

〈任期〉

平成29年9月26日～32年9月25日

## 意見を求める案件

### 人権擁護委員

**佐藤 強氏**

標津町字川北南1線西1番地6

〈任期〉

法務大臣の委嘱の日から3年間

## 一般会計の補正予算

### 主なもの

(単位:千円)

項目	金額	内容
社会保障・税番号制度システム整備事業	1,599	社会保障・税番号制度対応(厚生労働省分)データ標準レイアウト改版費用
旧古多糠小中学校1線校舎解体工事	30,780	平成24年3月に閉校した古多糠小中学校の1線校舎の解体経費
クジラ等死骸運搬及び処理経費	1,543	北2条東1丁目海岸に漂着した大型クジラの運搬・埋立処理経費
崎無異育成牧場施設補修費	640	崎無異育成牧場施設の経年劣化による修繕費
サーモン科学館改修等整備事業	32,842	サーモンパーク屋外トイレ改修工事費の計上(併せて井戸水水中ポンプ整備費等の科目替え) 〈主な設備〉 ・多目的トイレ オスメイト、 ベビーベット新設 ・男子トイレ 小便器集約(10台→8台)、 大便器を全てウォシュレット洋便器に変更 ベビーチェア1台新設 ・女子トイレ 全てウォシュレット洋便器に変更 ベビーチェア1台新設 ・照明、内装は全て更新・ 改修、L字手すり設置
体育文化振興補助金	970	全道、全国大会等出場に係る助成金の追加

### 健全化判断比率等を承認

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく、健全化判断比率等の報告があり、承認した。

実質公債比率は7.6%(早期健全化基準は25%)で、資金不足比率はない。

副委員長  
**山崎 英司**



委員長  
**南 憲治**



町より報告のあった平成28年度一般会計及び特別会計(『国民健康保険特別会計(事業勘定)』等)8件、合計9件について、議長と議会選出監査委員を除く8名により決算審査特別委員会を設置し付託した。

### 平成28年度の決算を 決算審査特別委員会 に付託

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたる町執行機関の政策・方針を質す事です。  
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

# 一般質問

# 町政のそこが聞きたい

平成29年第3回定例会(9月13日)で3議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

## 小川 悠治 議員 ————— 6ページ

- 『高齢者の買い物対策』の危機!!  
老朽化した【カウモン号】の入れ替えの支援を!



老朽化した  
「カウモン号」

- 『エキノコックス症』 感染率77%のキツネが市街地を徘徊!! **多発**  
捕獲・駆除対策は? 近隣町で深刻な事例発生!



### エキノコックス症①

エキノコックス症とは、寄生虫の一種であるエキノコックスによって人体にひきおこされる感染症の一つ。包虫症等ともよばれる。  
原因は、キタキツネや犬・猫・狸等の糞に混入したエキノコックスの卵胞を、水分や食料等の摂取行為を介してヒトが経口感染する事によって発生するとされる、人獣共通感染症である。

## 木下 孝 議員 ————— 7ページ

- 『日ロ共同経済活動』は、『領土返還問題』に  
如何なる効果<sup>いか</sup>を期待できるのか?

### 北海道新聞

7月9日(日曜日)付

北方領土啓発  
マスコットキャラクター



「エリカちゃん」

1面

日ロ共同経済活動 ロシアが実効支配する北方領土で、日ロの政府や民間が共同事業を実施する構想。昨年12月の安倍首相とプーチン大統領の日ロ首脳会談で協議開始を確認した。日本政府は「領土問題解決を含む平和条約締結へのプロセス」と位置付ける。ロシアには日本から投資を呼び込む狙いがあるとされる。両国が領有権を主張するため、双方の法的立場を踏まえない制度の下での実施が前提となる。今年3月には外務次官級協議を開き、互いに具体的な事業を提案した。



## 吉田 智 議員 ————— 8ページ

- 『子ども達の現況・取り巻く生活環境』 学校・家庭・\*【CS】が  
共通認識を!



### ★子どもの不健康の一要因～

【低所得層の子ども】給食の無い週末に栄養格差が生じる(中所得層との対比)「食事代わりにアイス1本」のケース有り!

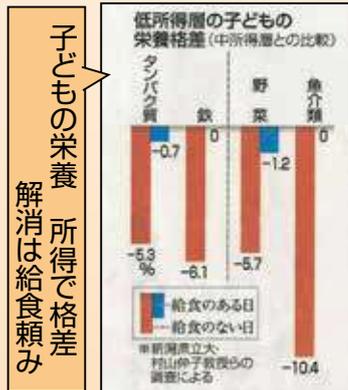
★6人に1人の子どもが就学援助受給(標準町)

※ 【CS】コミュニティ・スクール (Community School) 詳細は10頁参照

### 北海道新聞

7月31日(月曜日)付

1面 一部加筆



『高齢者の買い物対策』の危機!!  
老朽化した「カウモン号」の入れ替えの支援を!

商工会と協議  
短・中・長期にわたり、適切に対応する



小川 悠治 議員

**問** カウモン号の存在は、病院や福祉施設と並んで、高齢者が標津に住み続ける為の絶対必要条件である。  
そのカウモン号が老朽化が進み、止むを得ず運休する事、幾度利用者に不安を与えている。

高齢者買い物対策は確実な継続性が重要であり、その為に、車輛入れ替え支援が必要である。  
更に、

- ① 電話注文サービス
  - ② 必要品の外部からの購入サービス
- 等の利用者の利便性も検討すべきである。



老朽化し入れ替えが望まれる【カウモン号】

**答** 以前より、商工会に対し買物難民対策として、月2回程度の土日の「一日パート」開催等の提言をしてきた経緯がある。

カウモン号の新車両購入費用は1千500万円超と見込まれるが、

- ① 買物弱者の福祉
- ② 商工業振興
- ③ 人口減少対策
- ④ 災害時物資搬送等を考慮し、商工会と協議する。

住み慣れた標津で、「買い物弱者」である高齢者に対して、短・中・長期にわたり、適切に対応する。

近隣町で深刻な事例発生!

エキノコックス症  
感染率77%のキツネが市街地を徘徊!!  
多発  
捕獲・駆除対策は?

要請を頂く中で的確に捕獲・駆除

**問** 近年、市街地を徘徊するキツネが目立ち、糞を撒き散らかしている。このキツネの77%がエキノコックス症に感染していると言われる。



市街地を徘徊する「キタキツネ」

目に見えない虫卵が人の口から体内に入り、肝機能障害を起こしている事例が近隣町に発生している。

**答** キツネの捕獲・駆除対策と町民周知が必要。  
**副町長** キツネが増加傾向にあると実感している。

鳥獣保護と言う難しい判断もあるが、町民の要請を頂く中で的確に捕獲・駆除して行きたい。

恐ろしいエキノコックス症の周知と検診を今後とも推進する。

エキノコックス症②



多包性エキノコックス症の病原体:「多包条虫」



感染ネズミを解剖した様子

【症状】

無症状の潜伏期間が長く、成人の場合で10年から20年、小児で5年以上かかるといわれている。  
患者の98%が、肝臓に病巣を形成される。感染初期の\*囊胞(のうほう)が小さい内は無症状だが、やがて肝臓腫大を惹き起こして右上部の腹痛、胆管を閉塞して黄疸を呈して皮膚の激しい痒み、腹水をもちやす事もある。次に侵され易いのは肺で、咳、血痰、胸痛、発熱などの結核類似症状を引き起こす。 \*囊胞(のうほう): ふくろの中に流動体や半流動体が貯留している状態。

【感染対策】

直接的な対策は多くの経口型感染症対策と同じく、「手指の洗浄励行」、「汚染の恐れがある食物はよく洗い加熱する」などであり、排出された虫卵を経口摂取の可能性を低減する効果が期待できる。また、感染終宿主との接触を避けることも重要である。  
住環境に対しての対策は、すなわち媒介動物対策となる。つまり、主要な感染源となるキツネや野犬を人家周辺に近づけないための対策が重要で、餌となる畜産廃棄物、水産廃棄物、生ゴミなどの適正な保管・処理が不可欠とされる。

※【日ソ共同宣言】1956年10月、日本と旧ソ連の国交回復について鳩山一郎、ブルガーニン両国首相（当時）がモスクワで締結した文書。平和条約締結後に歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す事を規定した一方、合意できなかった択捉、国後両島の扱いは触れられていない。



木下 孝 議員

**問** 昭和31年の日ソ共同宣言後、一時光明が見えた時期もあったが、一向に前進する兆しのない領土交渉。正に、空白の60年間であり、その間、我々元島民は、**齢を重ねて来ただけの印象**である。そこに今回の日ソ共同経済活動。領土問題は停滞どころか後退した感が強い。如何なる効果を期待できるのか。立场上、答えにくい点もあるが、町長の所信を質す。



『日ソ共同経済活動』は、『領土返還問題』に如何なる効果を期待できるのか？

スピード感を上げて領土返還に取り組んで行く

北海道新聞 平成29年9月8日(金曜日)付 3面 総合ひと

# 成果強調 先行きは不透明

日ソ共同経済活動の今後の主な政治日程

9月23、24日	北方領土への元島民の空襲追悼
9月下旬	国連総会(国連ニューオーロク)、外相会談を機に
10月上旬	日ソ共同経済活動推進現地調査
11月10、11日	APEC(アジア太平洋経済協力会議)総会(ベトナム)、日ソ首脳会談
11月17日	河野太郎外相が訪日、日ソ貿易経済政策委員会(モスクワ)
12月	グランドホテル建設が本格化
2018年3月18日	ロシア大統領選
5月	大統領就任式
5月下旬	サンクトペテルブルク日ソフォーラムとモスクワ日ソ交渉委員会、安倍首相が日ソ首脳会談
9月	自民党総選

日ソ両首脳が懸念する課題と思惑

**北方四島での共同経済活動**  
四島への船着きを認め、領土問題解決に向け積極的交渉。日本の活動は「領土問題解決」を前提に交渉。

**北朝鮮の核・ミサイル開発**  
ロシアとも協力し北朝鮮への制裁を強化。北朝鮮との軍事協力を強化。ミサイル開発などにも協力。

**安倍首相**  
来年3月のロシア大統領選後の領土交渉再開を望むが、政府支持率は低水準。9月には総選挙。

**プーチン大統領**  
交渉再開を維持するが、大統領選を控え、領土問題で妥協は難しい状況。東部との対立は長期化の傾向。

**日ソ四島経済活動5項目合意**

「特別な制度」依然曖昧 対北朝鮮で不協和音も

# 「領土交渉むしろ停滞」

## 日ソ首脳会談 元島民ら落胆

【東京8日共同電】日ソ首脳会談は、領土交渉再開を望む元島民らから歓迎されたが、安倍首相とプーチン大統領の会談は、領土交渉再開に向けた具体的な進展は見られなかった。元島民らからは「交渉再開の兆しは全くない」という声も聞かれた。

【東京8日共同電】日ソ首脳会談は、領土交渉再開を望む元島民らから歓迎されたが、安倍首相とプーチン大統領の会談は、領土交渉再開に向けた具体的な進展は見られなかった。元島民らからは「交渉再開の兆しは全くない」という声も聞かれた。

【東京8日共同電】日ソ首脳会談は、領土交渉再開を望む元島民らから歓迎されたが、安倍首相とプーチン大統領の会談は、領土交渉再開に向けた具体的な進展は見られなかった。元島民らからは「交渉再開の兆しは全くない」という声も聞かれた。

1面

28面

第2社会

共同記者発表を終え、握手する安倍首相(左)とロシアのプーチン大統領=7日午後、ロシア・ウラジオストク(時事)

**答** 日ソ共同経済活動は、相互信頼を醸成し、その後、平和条約締結、領土返還へと結び付ける為の手段であり、プロセスである。「領土交渉が停滞・後退する、果たして北方隣接地域の経済振興に寄与できるのか」等の懸念も有るが、スピード感を上げて、領土返還に取り組んで行く。

- 四島活動まずら項目で来月にも再調査
- 1 海産物の養殖
  - 2 温泉野菜栽培
  - 3 各島の特性を生かした観光ツアー
  - 4 風力発電
  - 5 リサイクル等のごみ処理。

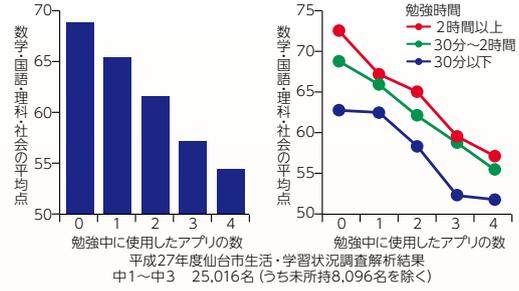
北海道新聞 1面

9月7日(木曜日)付

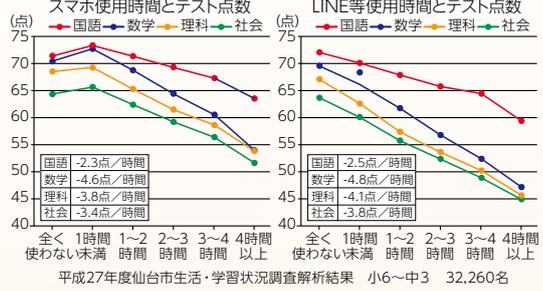
一部加筆

東北大学加齢医学研究所所長 川島隆太教授【著】

図B スマホの使い方と学力の関係  
(「勉強時間」を統制)



図C スマホ、LINE等の使用時間と学力の関係



LINE・ゲーム・音楽・動画等のアプリ数の多いほど、使用時間が長いほど学力が低下する！

子ども達の現況・取り巻く生活環境

- ①メディア(スマホ・LINE・ゲーム・テレビ等)依存症の弊害
- ②全国学力・学習状況調査の結果【全国・全道・標津町の比較検証】
- ③読書・新聞<sup>※2</sup>精読の効用
- ④朝食摂取の習慣化
- ⑤経済格差と学歴格差・栄養格差の実態



吉田 智 議員

参考資料1~6 参照(順不同)  
参考資料6 は5頁参照  
※2精読(せいどく):内容をよく理解できる様に細かい所まで丁寧に読む事。  
【類語】熟語

【問】上記5項目を、学校・家庭は固より、今回設立された【CS】に対し、共通認識事項として、周知・啓発を。教育長の所信を質す。  
【答】教育長 8月23日に川北地区、8月24日に標津地区に【CS】が設立された。本年は【CS】元年として、研修・会議を重ねて行く。5項目に関して、共通認識として進める。

子ども達の現況・取り巻く生活環境  
学校・家庭・【CS】が、共通認識を！

参考資料を45頁添付して質問

※1【CS】:詳細は10頁参照

参考資料2 ~東北大学加齢医学研究所の解析データ~

朝食を抜く事で、記憶力や集中力、問題解決力が低下してしまう  
『本を読む子』ほど脳内ネットワークは伸びる

「読む力」に課題  
中村和弘・東京学芸大学教授(国語教育学)の話  
昨年度と同様、基礎学力の定着が全国的にしっかり図られている傾向だ。ただ、書かれていることを基に自分の考えを述べる設問の正答率が低いなど、小中学校ともに「読む力」に課題がみられた。相手の発言の意図を捉えて聞くという日常で必要とされる力が付いていない。次期学習指導要領で重視される「主体的・対話的で深い学び」を実践するためにも、授業では議論などの活動面だけでなく、文章をきちんと読んで理解したり、考えたりする力を育てる必要性を再認識すべきだ。

「学校教育の戦後70年史」【発行】小学館  
参考資料3  
家庭の経済格差と子どもの貧困の拡大が顕著化したのは、一九九〇年代以降のことである。二極化する社会階層間で異なる親たちの生き方や教育戦略の差が、子どもの学習意欲や学習時間の差となって表出した。その結果、進学機会の格差や結果としての学力の差によって所得や地位の格差が生じ、その後の生活に大きく影響するという「貧困の連鎖」が生じている。  
日本児童教育振興財団【編】

北海道新聞

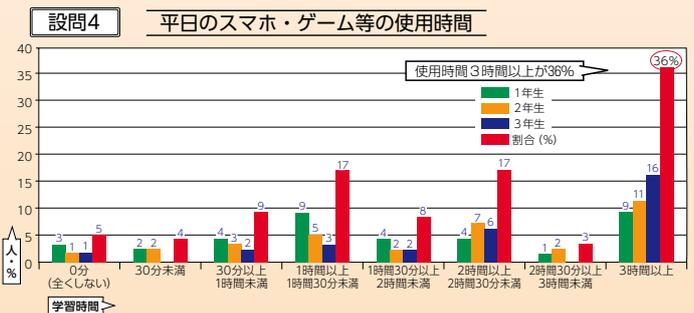
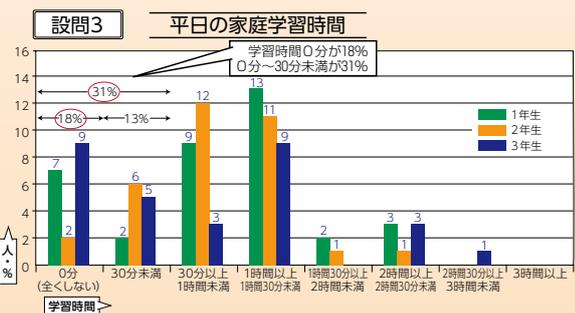
平成29年8月29日(火曜日)付 32面 第2社会 ~全国学力テストの結果分析~

頻度が高くなるほど成績は上昇する傾向が見られ、「ほぼ毎日」とした子供と「読まない」と答えた子供の結果を比べると、小学校国語Bで12・5割、小学校算数Bで9・9割など、各教科で差があった。

新聞読むほど正答率が高く  
2017年度全国学力テストの児童生徒を対象にしたアンケートを基に、新聞を読む頻度とテストの正答率との関係性を文部科学省が分析したところ、頻度が高い子供の方が平均正答率は高いとの結果が出た。一方で、新聞を読む習慣のある子供の割合は減少傾向が続いている。  
「新聞を読んでいますか」との質問に「ほぼ毎日」「週に1~3回程度」「月に1~3回程度」「ほとんど、または全く読まない」と四つの選択肢を用意し、それぞれを選んだ子供の平均正答率を比較した。  
「ほぼ毎日」と答えた子供の正答率は、中学校国語Bで「週に1~3回」をわずかに下回ったのを除けば、各教科で最も高い結果となった。

参考資料5 標津中学校学校通信【とどわら】第6号 一部加筆

~第1回学校評価アンケートの結果《生徒への質問》~



回答者が99名であるので 人数÷%としている

# 常任委員会の動き

## 町内行政視察研修等

### 社会福祉法人「標津福祉会」

平成28年度 社会福祉法人 標津福祉会 収支決算  
(単位：千円)

区 分	26年度 a	27年度 b	28年度 c	比較 c-b	
施設 運 営	介護保険	239,523	216,137	239,240	23,103
	利用者負担	43,617	43,647	50,280	6,633
	家賃収入等		0	16,592	16,592
	町補助金	4,265	4,600	5,144	544
	その他	2,000	1,827	2,215	388
	計 A	289,405	266,211	313,471	47,260
支 出 費	人件費	214,888	220,966	209,010	▲11,956
	事業費	57,693	53,249	61,230	7,981
	事務費	41,938	43,895	44,096	201
	計 B	314,519	318,110	314,336	▲3,774
収 支 差 引 (A-B) C	▲25,114	▲51,899	▲865	51,034	
施設 整 備 費 出 等	国道等助成金	215	0	0	0
	国補助金		20,000	0	▲20,000
	町補助金	15,411	38,156	20,634	▲17,522
	借入金		290,800	0	▲290,800
	計 D	15,626	348,956	20,634	▲328,322
	特養ベッド更新事業	7,290	3,596	3,711	115
	特養誘導灯省エネ改修工事	2,441	0	0	0
	特養窓・避難路改修工事	5,680	0	0	0
	その他設置工事・車両含む	1,259	0	0	0
	新築施設工事費		299,808	0	▲299,808
支 出 費 等	工事監理費		3,240	0	▲3,240
	基本・実施設計費		18,144	0	▲18,144
	外構工事費		4,310	※24,829	20,519
	外構設計費		2,700	0	▲2,700
	備品購入費		19,568	643	▲18,925
	借入元金利息償還		0	16,953	16,953
	計 E	16,670	351,366	46,136	▲305,230
	収 支 差 引 (D-E) F	▲1,044	▲2,410	▲25,502	▲23,092
	単年度収支 (C+F) G	▲26,158	▲54,309	▲26,367	

平成28年度単年度収支は G=▲26,367 (千円) であるが  
臨時的経費の外構工事費 ※24,829 (千円) を差引くと  
法人全体で実質 (経常的経費) ▲1,538 (千円) の収支結果となる。

入苑者の増加・小規模多機能ホーム開設による増収  
サービス付き高齢者住宅開設による増収

7月25日、社会福祉法人「標津福祉会」の視察研修を行なった。研修の冒頭、吉田浩一理事長は、「役職員の意識改革を推進し、自立経営を目指し、常に利用者により寄り添う福祉施設を標榜して行く」と、力強く経営方針を述べられた。

文教

福祉

建設

福祉

各施設の稼働率の向上に努力している

大内哲也統括施設長より、法人各事業の現状説明を受け、質疑応答。その後、「標津はまなす苑」「陽だまり」の施設内を視察した。各施設において稼働率を、各事業において事業効率向上に邁進している事を実感した。

### 『社会福祉法人標津福祉会』施設等の稼働状況

(平成29年7月21日現在)

施設及び事業	定員等	現況
特別養護老人ホーム標津はまなす苑(多床室・従来型個室)	63床	61名
標津はまなす苑短期入所生活介護事業所(ショートステイ)	4床	4名
デイサービスセンター標津はまなす苑(予防デイ・デイ混合型)	25名	22名
標津福祉会居宅介護支援事業所(在宅介護保険利用者)	担当件数	35件
サービス付き高齢者向け住宅陽だまり(サ高住)	20室21名	20室21名
小規模多機能ホーム陽だまり(介護認定者利用)	登録25名	登録16名 (サ高住10名 在宅6名)
夕食配食サービス事業(平日の夕食弁当の宅配・安否確認)	登録	6名

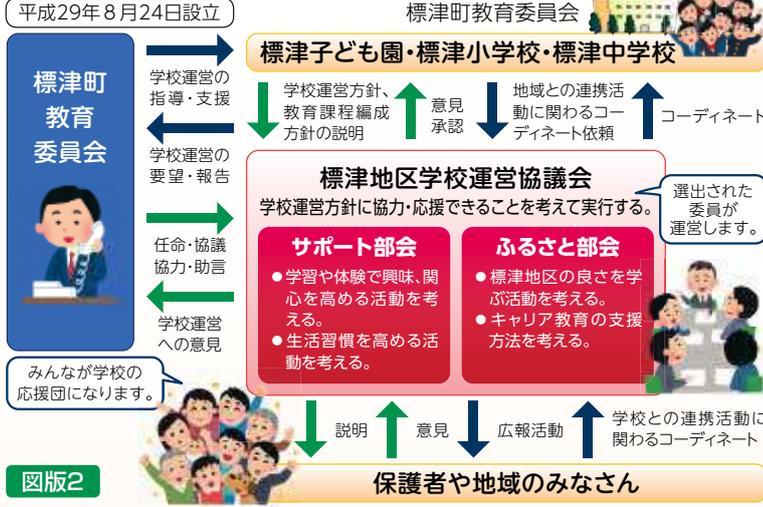
次年度以降も、より一層の稼働率向上を目指しながら、病院・他介護施設・関係機関との連携を強化し、改善計画に基づき、計画執行に努めて頂きたい。



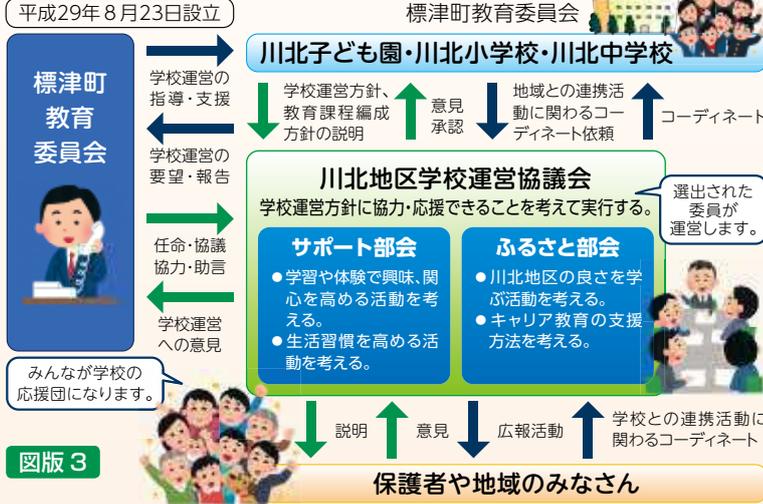
吉田理事長の経営方針を拝聴する委員

※コミュニティ・スクール【CS:Community School】(学校運営協議会)地域の皆様が教育に関心をもち、こども園や小学校、中学校の運営に関わってもらう仕組みとして、標津地区と川北地区、それぞれに学校運営協議会を設置するものであり、子どもたちへのアドバイス等の協力を得ながら地域と共に歩む学校づくりを進めるもの。

### 標津町コミュニティ・スクール(標津地区)のしくみ



### 標津町コミュニティ・スクール(川北地区)のしくみ



## 文教

### 教育委員会

## ※コミュニティスクール(CS)の概要説明

8月25日、第一委員会において、教育委員会より、『標津町コミュニティ・スクール』の概要説明を受け、その後、質疑応答。

(CSの概要に関しては、図版1～図版3参照)

地域と学校が共通の目標達成に取り組み事で、大きな教育効果が望まれる。「地域の子は地域が育てる」を合言葉に組織されたCSが、子どもの生きる力の礎となることを希う。

### 図版1

**標津町コミュニティ・スクール**  
学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティ・スクール」といいます。学校の応援団として地域の皆さんと共に子どもの健全な育成を図る教育活動に取り組むものです。

川北地区では  
●川北認定こども園 ●標津認定こども園  
●川北小学校 ●標津小学校  
●川北中学校 で組織します ●標津中学校 で組織します

「サポート部会」(学習や体験で興味、関心を高める活動)と「ふるさと部会」(標津町の学びやキャリア教育支援)を設置し、地域の教育力の向上をめざします

**「地域の子は地域が育てる」が合言葉です**

地区から選任された委員の方  
が、学校運営方針に協力・応援  
できることを考え実行します。

## 総務

## 経済

### 所管事務調査報告

8月10日

一、調査事件  
(農林水産行政)

### ヒグマ対策等

今年から始まった第2期知床半島ヒグマ管理計画に標津町も参加した。

人間及びヒグマに対する適切な対策をとるため、対象地域を5段階に分け対応していく。次に8月9日までのヒグマの目撃・その対応状況について担当課より報告を受けた。



二、町内行政視察  
(商工観光行政)

### 川北温泉の現状

平成28年9月の道路損壊による通行止めで使えなくなっていたがこの度開通した川北温泉を途中の道路の復旧状況を含めて視察した。



温泉施設を視察する委員

道路については一部深みの水たまりがあったが通行には支障がない。又、温泉施設については川北温泉愛好会が管理をされ、手入れが行き届いている。

# 研修会報告

北海道町村議会議長会主催  
平成29年度 議会広報研修会

8月22日 於：ポールスター札幌

## ～議会が身近になる広報紙づくりへ～

### 広報特別委員会

### 全道議会議会広報研修会に

広報特別委員会

4名参加

講義・クリニック

平成29年度の全道議会議会広報研修会が、8月22日にポールスター札幌にて開催され、大垣委員長以下、広報特別委員会委員3名、計4名が参加した。

この研修会は、北海道町村議会議長会の主催で開催され、議会議会広報実務者（議員・職員）を対象にした研修及び広報紙クリニック・意見交換の場を設け、議会議会広報の発展に資する事を目的としている。標津町議会においては、隔年でこの研修会に広報特別委員会全員の参加を旨としている。（全国研修会には、隔年で2名ずつ参加）

午前10時35分～  
午後2時30分

講師

エディター・

広報アナリスト

●吉村

●潔氏



吉村講師

プロフィール

1953年生まれ

取材記者、書籍編集を経て現職に

【専門】 広報紙やグラフィ誌の企画・取材・原稿執筆・レイアウト・デザインまで編集全般

【各種委員】 全国広報

### 議会広報誌クリニックの視点

- 1 議事・議決機関としての説明責任が果たされているか
- 2 議会活性化と連携した広報になっているか
- 3 地域課題の共有・住民参加の広報が実践されているか
- 4 定例会以外の情報も充実しているか
- 5 住民の知りたいニーズに込んでいるか
- 6 進んで手にとり・読みたくなる工夫があるか

コンクール広報紙部門及び写真部門審査委員  
町議会議会広報表彰審査委員会委員  
議員研修誌「地方議会人」市町村議会議会広報クリニック担当  
【著書】「実践・広報紙づくり」（発行：社日本広報協会）

「議会が身近になる  
広報紙づくりへ」  
〈テーマ〉

上記6点の視点に立ち、10町村議会議会広報誌のクリニックを行ない、「紙面づくりのポイント」を具体的に解説。



研修会に参加した標津町議会議会広報特別委員会の4名



受講する108町村541名の議会議会広報実務者（議員・職員）

今回の研修を編纂の糧として、町民の皆様にとって、「身近な議会議会広報紙」を目指し、研鑽して行きたい。

